観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　７月　１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）萩市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山口県萩市	
所在地	山口県萩市大字江向６０２番地	
設立時期	昭和３０年　９月　１日　萩市観光協会発足 平成　７年　６月２３日　社団法人萩市観光協会設立 平成２５年　４月　１日　公益社団法人萩市観光協会に移行 平成２９年　４月　１日　一般社団法人萩市観光協会に移行	
事業年度	４月１日から翌年３月31日までの１年間	
職員数	８人【常勤８人（正職員６人・出向等１人・非正規職員１人）、非常勤０人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 阿川　仁海 （出身組織名） （株）ＮＴＡトラベル	令和２年６月に当協会の会長に就任、令和６年６月に再任。山口県、広島県に旅行会社を経営するなど豊富な経験と人脈を持つ。 インバウンド等の誘客や山口県の着地型商品などの強化に取り組む。
業務執行全般および行政との連絡調整の責任者（専門人材） ＤＭＯマネジメント責任者	（氏名） 小川　政則「専従」 （出身組織名） 萩市	令和５年４月に萩市から派遣され、当協会の専務理事に就任。萩市職員として観光業務に３０年携わり、商工観光部長を経て、再び観光協会へ派遣、専務理事に就任。地域の様々なパイプ役となっている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 世良　真智志「専従」 （出身組織名） （一社）萩市観光協会	当協会の実務全般に１８年間携わり、特に観光プロモーションや観光企画、各種調整において、高い能力を持つ。

様式１

財務責任者 （ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 大賀　真琴　「専従」 （出身組織名） （一社）萩市観光協会	当協会の財務担当者として新たな人材育成のため実務経験豊富な前担当から昨年引き継ぎ、協会の持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	（氏名） 中尾　成実　「専従」 （出身組織名） （一社）萩市観光協会	当協会のプロモーション担当者として新たな人材育成のため実務経験豊富な前担当から昨年引き継ぎ、観光プロモーションや観光企画、各種調整において、高い能力を持ち、新しい発想力で企画プロモーションを行う。
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 江川　麻美　「専従」 （出身組織名） （一社）萩市観光協会	当協会のＷＥＢ担当者として１８年間の実務経験を有する。ＨＰ作成だけでなく、データの収集、分析において高い能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	○萩市 観光課（データ収集・分析 、戦略策定、 観光施設活用、マーケティング、観光プロモーション） 産業戦略室（産業振興の推進） 商工振興課（雇用対策、特産品開発及び販売促進） 企業誘致推進課（企業誘致） 企画政策課（姉妹都市・友好都市・交流都市との連携） 萩・明倫学舎推進課（萩・明倫学舎の活用・プロモーション） 文化財保護課（世界遺産、文化財の保存整備・活用） 萩博物館（専門資料の調査・研究、展示） まちじゅう博物館推進課（地域資源の活用） おいでませ、豊かな暮らし応援課（地域振興施策、定住促進） スポーツ振興課（スポーツツーリズム） 福祉政策課（バリアフリー観光、社会資本整備） 農林振興課（グリーンツーリズム、資源のプロモーション、社会資本整備） 水産課（資源のプロモーション、社会資本整備） 土木課（道路要望・無電線化、社会資本整備） 建築課（観光施設の設計、社会資本整備） 都市政策課（景観維持、公園管理、便益施設管理、社会資本整備） 広報課（市内への情報発信） 文化・生涯学習課（文化の振興） 環境衛生課（環境美化） ＤＸ推進室（観光ＤＸの推進） 防災危機管理課（災害時の対応）	
連携する事業者名及び役割	○当協会の会員　※別紙のとおり 受入態勢強化 萩温泉旅館協同組合、はぎ温泉配湯協同組合、宿泊施設、飲食店・売店、NPO 萩まちじゅう博物館 商工振興、雇用、情報発信、経営支援	

	萩商工会議所、金融機関 食文化発信 山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部、萩元気食の会、萩仕出し弁当協同組合、各種飲食店 民泊、旅行商品 萩市ふるさとツーリズム推進協議会、一般社団法人萩八景遊覧船、(一社)須佐おもてなし協会、宿泊施設、観光施設、旅行業者 アクセス対策 西日本旅客鉄道㈱長門鉄道部、防長交通㈱、中国ＪＲバス㈱、タクシー事業者、レンタカー事業者 特産品開発 萩物産協会、ふるさと萩食品協同組合、窯元、菓子・農林水産加工品等製造業者、酒造業者、ＪＡ山口県萩統括本部、山口はぎ漁業協同組合ほか 住民意識の向上 萩ケーブルネットワーク㈱ 客船、レジャー ㈱マリーナ萩　ほか 〇関連団体 ガイド NPO 萩観光ガイド協会、浜崎しっちょる会 〇広域連携 当協会は以下の協議会等に参画しており、必要に応じて連携した取組を行う。 ながと路観光連絡協議会[長門市、萩市、美祢市、阿武町、津和野町、益田市]、萩・津和野イメージアップ協議会、長州路観光連絡会、山口県観光連盟（情報発信）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①及び②（概要） ① 当協会には、多種多様な業界から会員３７２名（社・団体等）が参画し、各種業界を代表する方々が役員（会長１名、副会長４名、理事２０名（うち１名は萩市商工観光部長）、専務理事１名）として理事会を形成している。年１回の総会、年４回の理事会、随時開催の各種専門部会において、協会運営に対し意思決定を及ぼしている。また、当法人が加盟する各種広域協議会等へ出席し、広域的な連携を図っている。 ②当協会、行政、温泉旅館協同組合が萩・明倫学舎にまとまり、３者会議を設置して、情報共有や事業検討するなど連携を図っている。また、必要があれば、萩版ＤＭＯ部会として、関係団体（観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工事業者等）を参集する体制を整え、官民・産業間・地域間の連携を図っている。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	観光事業者のみならず、地域住民も巻き込んだおもてなしを実現するためにレベルアップセミナーやインバウンド対応能力強化のため、観光庁事業を活用した全国通訳案内士による研修を開催。また、様々なイベント行事には住民にボランティアスタッフとして参加して頂き、一丸となって観光客のおもてなしを実施している。例えば、毎年１０月開催の「着物ウィーク in 萩」は、２００人近いボランティアスタッフで運営している。現在参加頂いている住民ボランティアの方からは、観光客（参加者）の笑顔を活力により協力頂けており、ボランティアのリピーター率は非常に高い状態である。 また、地域住民向けにＳＮＳや防災メールを活用した情報発信や地域コミュニティＦＭでの情報発信、子供への観光教育のため、学校を対象とした出前講座を開催している。

様式１

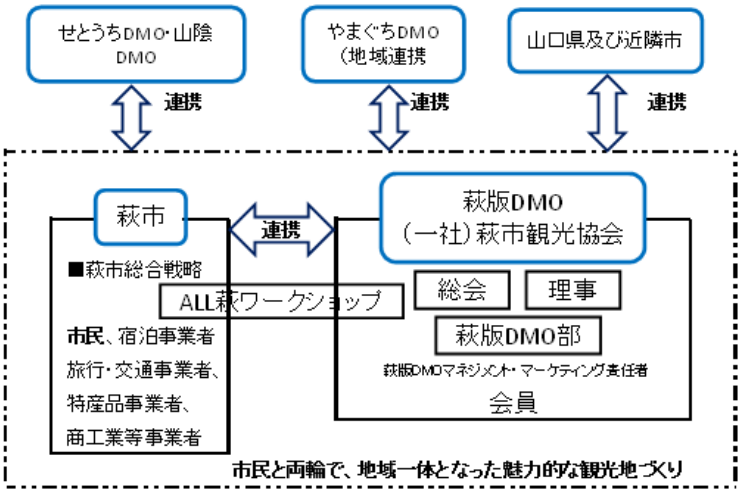
法人のこれまでの活動実績	（活動の概要） 当協会は、萩市の観光情報の発信、イベントの開催、観光案内所の運営などを行っている。 萩市の観光推進体制の中核組織として、歴史、自然、景観、文化的遺産を活かした観光の振興を図り、市民、行政及び多様な産業の連携のもと、市民が誇りと愛着を持つことができる観光地づくり及び地域の経済活性化において役割を果たしてきた。 ■令和５年度事業報告より（一部）

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	○観光誘客宣伝事業 ・他団体との連携による共同観光宣伝の実施 ・ホームページ等による情報発信 ・萩観光小町の選任・ＰＲ活動 ○観光調査事業 ○広告宣伝事業 ○萩版ＤＭＯ事業 ・広告宣伝助成事業 ・インバウンドプロモーション事業 ・公式ＨＰを活用した情報発信強化事業
受入環境の整備	○観光行事実施事業 ・萩の夏の風物詩「萩・万灯会（迎え火）」 ・着物ウィーク in 萩 ・萩観光シーズン開き ・萩・しろ魚まつり ○観光客受入態勢整備事業 ・観光協会等での観光案内 ○観光施設等管理運営事業 ○物販販売等事業 ○観光客案内事業 ○研修会等の開催 ○萩版ＤＭＯ事業（一部） ・ＭＩＣＥ誘致事業 ・魅力ある観光パンフレット作成事業 ・団体旅行商品造成支援事業 ・マイクロツーリズム促進支援事業 ・食情報発信事業 ・インバウンド受入環境整備支援事業 ・萩おもてなし事業　など
観光資源の磨き上げ	○萩版ＤＭＯ事業 ・山陰本線活用事業 ・魅力ある観光コンテンツ造成支援事業

（定量的な評価）
○会員数（R7.6.30 現在）
・正 会 員：314
・賛助会員： 64
○公式ホームページ
H28：アクセス数　103 万件、ページビュー数　419 万件
H29：アクセス数　100 万件、ページビュー数　388 万件
H30：アクセス数　 98 万件、ページビュー数　359 万件
R01：アクセス数　100 万件、ページビュー数　328 万件

	R02：アクセス数　 96万件、ページビュー数　279万件 R03：アクセス数　119万件、ページビュー数　306万件 R04：アクセス数　139万件、ページビュー数　350万件 R05：アクセス数　156万件、ページビュー数　351万件 R06：アクセス数　156万件、ページビュー数　348万件 ○情報発信 H28：135件（新聞・雑誌等　67件、ＴＶ等　68件） H29：　65件（新聞・雑誌等　21件、ＴＶ等　44件） H30：　53件（新聞・雑誌等　45件、ＴＶ等　 8件） R01：　40件（新聞・雑誌等　25件、ＴＶ等　15件） R02：123件（新聞・雑誌等　68件、ＴＶ等　55件） R03：　66件（新聞・雑誌等　37件、ＴＶ等　29件） R04：　97件（新聞・雑誌等　51件、ＴＶ等　46件） R05：　99件（新聞・雑誌等　52件、ＴＶ等　47件） R06：　98件（新聞・雑誌等　43件、ＴＶ等　55件） ○案内業務 H28：資料請求　1,648件 H29：資料請求　1,515件 H30：資料請求　1,613件 R01：資料請求　1,291件 R02：資料請求　　878件 R03：資料請求　　768件 R04：資料請求　　936件 R05：資料請求　　837件 R06：資料請求　　728件 ○延べ宿泊者数 H28：428,415人 H29：445,177人 H30：424,857人 R01：405,409人 R02：261,771人 R03：244,119人 R04：288,861人 R05：283,955人 R06：307,468人 ○外国人延べ宿泊者数 H28：16,215人 H29：23,838人 H30：18,179人 R01：13,691人 R02：　516人 R03：　 14人 R04：　365人 R05：　3,227人 R06：　6,936人 ○年間観光客数 H28：2,417,406人 H29：2,420,041人 H30：2,377,578人 R01：4,506,575人　※観光入込客数の算出方法の変更

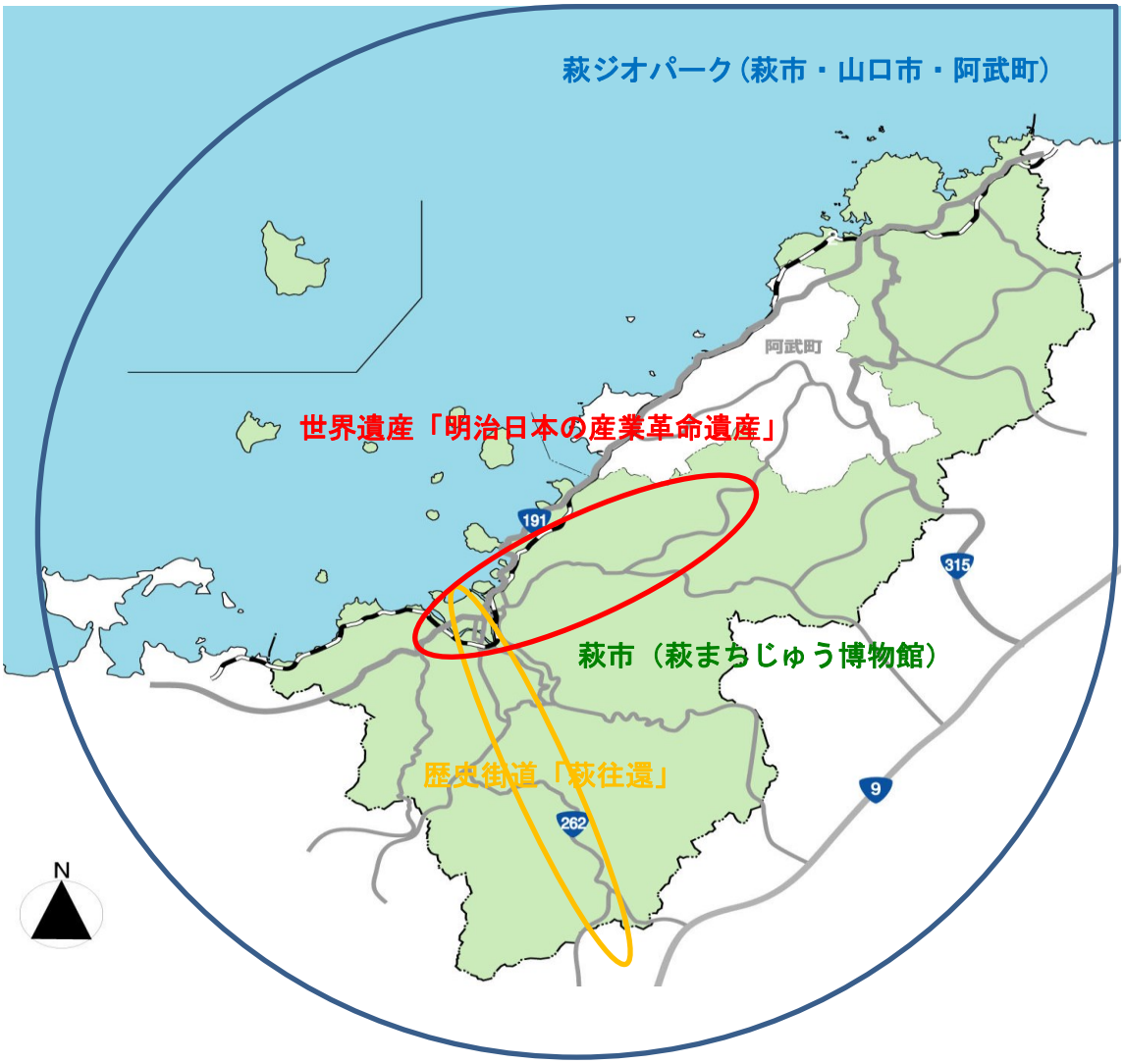
様式１

	R02：3,199,061 人 R03：3,178,124 人 R04：3,614,421 人 R05：3,828,146 人 R06：3,892,992 人
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** 一般社団法人萩市観光協会に参画する宿泊業者、飲食業者、小売業者、観光施設、交通事業者、建設業者、行政等、多様な関係者が官民密接に連携した運営を実施。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

区域を構成する萩市では、顧客視点に立ち、バス事業者との連携による市内循環バスのほかボランティアガイド団体との連携によるガイドツアー、文化財施設１日共通券、駐車場（市内３駐車場）割引企画などの取組を実施している。

当協会には市全域から会員として事業者等が参画しており、また、観光資源の面からみてもコンセプトとして「萩まちじゅう博物館」である当該市で連携した区域設定とするのが適切である。

緑：まちじゅうのお宝を現地で展示する「萩まちじゅう博物館」のエリア
赤：世界遺産「明治日本の産業革命遺産」（萩の５資産）を有するエリア
・世界遺産「明治日本の産業革命遺産」（萩城下町）を有する「萩城下町」
・世界遺産「明治日本の産業革命遺産」（松下村塾）を有する「旧松本地区」
青：豊かな自然景観や地質資源を有する萩ジオパークのエリア
黄：歴史街道「萩往還」のエリア

【観光客の実態等】

萩市の観光動態入込調査（入込客数）
H28：2,417,406 人
H29：2,420,041 人
H30：2,377,578 人
R01：4,506,575 人　※観光入込客数の算出方法の変更
R02：3,199,061 人
R03：3,178,124 人
R04：3,614,421 人
R05：3,828,146 人
R06：3,892,992 人

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

・萩・明倫学舎…昭和 10 年建造の旧小学校校舎を観光交流拠点として改修整備し、「萩観光の拠点施設」として平成 29 年３月に開館。観光インフォメーション機能を備え、藩校明倫館の歴史展示や幕末維新の遺物展示館、世界遺産ビジターセンター、萩ジオパークビジターセンターがある。
・萩博物館…平成 16 年に開館した総合博物館、歴史・自然・民族に関する展示がある市立総合博物館
・萩城跡・指月公園…国指定史跡で世界遺産の構成資産。一般公開している。
・萩城城下町…国指定史跡で世界遺産の構成資産。史跡内の民間所有である高杉晋作誕生地や円政寺は一般公開している。
・松下村塾（松陰神社）…国指定史跡で世界遺産の構成資産。神社地境内には吉田松陰歴史館、松陰神社宝物殿「至誠館」がある。
・東光寺・大照院…萩藩毛利家の菩提寺でともに国指定重要文化財。一般公開している。
・菊屋家住宅…国指定重要文化財。民間所有で一般公開している。
・熊谷美術館…国指定重要文化財。民間所有で一般公開している。
・山口県立萩美術館・浦上記念館
・萩焼資料館、吉賀大眉記念館…いずれも民間経営の萩焼に関する資料館、作陶体験もできる。
・萩八景遊覧船…城下町を水上から望む遊覧船。
・公開文化財施設（木戸孝允旧宅、青木周弼旧宅、旧湯川家屋敷、桂太郎旧宅、伊藤博文別邸、旧久保田家住宅、口羽家住宅、旧田中別邸、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋）…萩市の管理により、一般公開しており、いずれも 100 円で入館できる。国指定史跡や市指定有形文化財、伝統的建造物などに指定されており、いずれも文化的価値が高い。各種イベント会場やロケ等でも活用している。
・須佐湾観光遊覧船、須佐湾フィッシングパーク…いずれも国指定名勝「須佐湾」にある体験アクティビティ
・須佐歴史民俗資料館、阿武川歴史民俗資料館…いずれも市営の資料館。
・むつみ昆虫王国かぶと虫ドーム
・公営キャンプ場（温泉付き）…田万川キャンプ場（田万川温泉憩いの湯）、須佐湾エコロジーキャンプ場、萩アクティビティパーク、阿武川温泉（交流促進施設バンガロー）

・道の駅…「萩しーまーと」、「萩往還」、「あさひ」、「萩・さんさん三見」、「ハピネスふくえ」、「うり坊の郷 Katamata」、「ゆとりパークたまがわ」と市内に全７箇所ある。その他道の駅機能に準ずる直売所施設も数多くある。
・その他、宿泊施設、土産店ほか

【観光資源（文化財・自然・文化等）】
[世界文化遺産]「明治日本の産業革命遺産」萩城下町（城跡・旧上級武家地・旧町人地)、松下村塾、萩反射炉、大板山たたら製鉄遺跡、恵美須ヶ鼻造船所跡
[国選定重要伝統的建造物群保存地区]平安古地区、堀内地区、浜崎、佐々並市
[国指定重要文化財]常念寺表門、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋、東光寺、菊屋家住宅、熊谷家住宅、口羽家住宅、大照院
[国指定史跡]松下村塾、吉田松陰幽囚ノ旧宅、萩反射炉、旧萩藩校明倫館、木戸孝允旧宅、伊藤博文旧宅、旧萩藩御船倉、萩城跡、萩城城下町、萩藩主毛利家墓所、見島ジーコンボ古墳群
[国指定天然記念物]明神池、笠山コウライタチバナ自生地、指月山、見島ウシ産地、見島のカメ生息地
[国登録有形文化財]明倫小学校本館、萩駅舎、三見橋
[県指定天然記念物]志都岐山神社のミドリヨシノ
[市指定天然記念物]笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林ほか
[川上地域][国指定名勝]長門峡、[国指定天然記念物]川上のユズおよびナンテン自生地ほか
[田万川地域][県指定有形文化財]西堂寺六角堂、[県指定天然記念物]田万川の柱状節理と水中自破砕溶岩、[市指定史跡]塚穴古墳、須佐地古墳、[市指定天然記念物]尊正寺のエドヒガン、三明のイトザクラほか
須佐地域][国指定名勝及び天然記念物]須佐湾、[国指定天然記念物]須佐高山の磁石石[県指定史跡]須佐唐津古窯跡群、[市指定有形文化財]益田館ほか
[むつみ地域][国登録有形文化財]むつみ村役場旧庁舎、むつみ村役場土蔵、[県指定史跡]穴観音古墳、奥阿武宰判勘場跡、[県指定天然記念物]吉部八幡宮のスギ、辻山のシダレザクラほか
[旭地域][国指定史跡]萩往還、[国登録有形文化財]鹿背隧道、落合の石橋、下横瀬公民館ほか
[福栄地域][国指定重要文化財]森田家住宅、[国指定史跡]大板山たたら製鉄遺跡、[市指定有形文化財]佛光寺楼門ほか
[萩のジオサイト]笠山、須佐湾・畳石（須佐ホルンフェルス）、龍が通った道・猿屋の滝、石灰岩大地・半田、龍が通った道・龍鱗郷、スコリア丘・伏馬山、見島（平成 31 年度に日本ジオパーク認定）

【イベント・スポーツ施設等】
しろ魚まつり、萩の酒まつり、萩の真ふぐまつり、春の魚まつり、わらび摘みフェスタ、萩焼まつり、萩・大茶会、萩・夏みかんまつり、浜崎伝建おたから博物館、つつじまつり、萩往還まつり「技・明木展」、須佐焼ふれあいまつり、エコロジーキャンプ場まつり、おしくらごう（萩の和船大競漕）、大光寺ほたるまつり、ホタルまつり in やまだ、須佐夏まつり、須佐湾大花火大

会、須佐男命いか祭り、むつみ菜の花まつり、ひまわりロードフェスタ、萩日本海大花火大会、萩夏まつり、萩・万灯会、萩・竹灯路物語、着物ウィーク in 萩、萩・田町萩焼まつり、そばの花まつり、萩時代まつり（萩ふるさとまつり）、金谷天満宮秋季例祭、長門峡もみじまつり、萩城下町マラソン、シクラメンフェア、松陰神社勧学祭、萩城下の古き雛たち、萩・椿まつり、萩往還ワンデーウオーク
萩ウェルネスパーク、陶芸の村公園グランドゴルフコース、萩・石見カントリー倶楽部など

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

区分	区分	区分	施設数	収容人数
宿泊統計	正会員・賛助会員	旅館・ホテル	17	2,390
		ビジネスホテル	4	311
		ユースホステル	1	100
		貸別荘	1	6
		民宿	6	181
		計	29	2,988
	その他	旅館・ビジネスホテル・民宿	20	485
		公営キャンプ場等	8	
統計外		簡易宿泊所・研修施設等	7	132
計			64	3,605

規模別	旅館・ホテル		ビジネスホテル		民宿		その他	
（収容人数）	施設数	収容人数	施設数	収容人数	施設数	収容人数	施設数	収容人数
20 人未満	4	41	3	32	9	108	2	19
20 人以上	8	266	3	104	3	90		
50 人以上	4	252			2	104		
100 人以上	5	642					1	100
200 人以上	4	1,480	1	235				

【利便性：区域までの交通】

山口宇部空港をご利用の方	乗合タクシー（要予約）で約 75 分
	新山口駅までバスで約 30 分、新山口駅からバスで約 60～75 分
萩・石見空港をご利用の方	乗合タクシー（要予約）で約 70 分
	ＪＲ益田駅までバスで約 12 分、ＪＲ山陰本線で約 70 分
新山口駅をご利用の方	スーパーはぎ号で約 60 分
	防長バスで約 70 分　ＪＲバスで約 95 分
車をご利用の方	「中国自動車道」美祢東ＪＣＴ経由・「小郡萩道路」（無料） 絵堂ＩＣから車で約 20 分
高速バスを利用	東京―萩市内 防長交通「萩エクスプレス」14 時間 40 分
	関西―萩市内 防長交通「カルスト号」 京都から 13 時間 30 分 大阪から 12 時間 20 分 神戸から 11 時間 00 分

【利便性：域内交通】

萩循環まぁーるバス	萩城跡・城下町方面：西回り「晋作くん」 東光寺・松陰神社方面：東回り「松陰先生」 80 分で市内各コースを 1 周。各バス停には、45 分間隔 ■運賃／1 回 100 円 ■萩市役所を起点に、始発 7：00～終発 17：30
観光タクシー	■料金例 小型 2 時間： 11,200 円～、3 時間：16,800 円～

【外国人観光客への対応】

萩市におけるインバウンド対応は平成２９年度から力を入れて取り組みを始めた。
※これまでの取組
・ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所　５箇所（パートナー施設含む）
・ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所スタッフを対象とした研修会の実施
・パンフレットの刷新　英語、韓国語、中国語（繁体字）
・ホームページ、観光案内看板の多言語化　英語、韓国語、繁体字
・せとうちＤＭＯと連携したＦＡＭツアーの実施
・訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業
・外国人観光客へのアンケート調査
・インバウンドおもてなしセミナー
　令和６年度開催実績：６月１２日　参加者：３０名
　　３月１２日　参加者：２８名
・インバウンドプロモーション
・外国観光客船へのおもてなし　郷土芸能披露や地元高校生によるウェルカムスピーチ
・観光庁の「観光地における新規市場の開拓・多角化に向けた実証事業」を活用した旅行商品の造成・販売

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光入込客数	観光入込客数の推計	各地点における通年調査
延べ宿泊客数	事業効果測定、戦略の見直し 観光消費額を推計	宿泊施設への調査
延べ外国人宿泊客数	事業効果測定、戦略の見直し	宿泊施設への調査
観光客アンケート	事業効果測定、戦略の見直し	アンケート調査（出発地、リピーター率、観光消費額単価）
観光客満足度	事業効果測定、戦略の見直し	アンケート調査
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	Google アナリティクス等のシステム内の機能による。

様式１

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

萩市では、人口減少と少子高齢化が著しく進んでおり、後継者不足、地域経済及び産業活動の縮小につながるおそれがある。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）を中心として、既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、萩市の新たな魅力を創出し、交流人口の増加につなげることとしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ●萩ブランドの認知度 （町並み・伝統工芸） ●本物の歴史・文化遺産・豊富な自然 ●世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 ●ドラマ等のロケーション ●豊富な食資源	弱み（Weaknesses） ●市内公共交通 ●食の活用 ●後継者不足 ●時期による観光入込のばらつき ●お土産品種類不足 ●滞在時間が短い ●インバウンド対応の遅れ
外部環境	機会（Opportunity） ●訪日外国人旅行者の増加 ●周辺観光地の人気上昇と認知度向上	脅威（Threat） ●立地（主要駅等からの二次交通） ●国内の人口減少 ●若者の都会への集中 ●周辺宿泊地との競合

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層　関東、近畿、広島、福岡の５０～６０代男女

〇選定の理由

マーケティング調査を実施した結果、当地域へ多く来訪のある地域・年代層であり、公式ホームページへのアクセスが多く、道路の整備や鉄道の利便性向上等により、来訪が増加している。
一定の経済力を持たれており、市内広域の観光資源のコンテンツ化により、来訪時の滞在日数の長期化や、再来訪にも繋がる可能性を有している。

〇取組方針

満足度調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを活かしたプロモーションを展開する。

〇ターゲット層　関東、近畿等大都市圏の２０～４０代の女性

〇選定の理由

戦略的ターゲットとして、萩観光マーケティング調査（地域資源を活用した観光地魅力創造事業）や様々な調査を分析する中で、知的好奇心が高く、本物志向で、多様な関係者への影響力をもつ層であるため、萩のブランド力を活かし、新たな層の取り込みが見込まれる。
担う役割の多い層であり、各年代への影響力が極めて強く、他世代に渡っての再訪が期待される。

○取組方針 　満足度調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に訴求するコンテンツを活かしたプロモーションを展開する。
○ターゲット層　台湾・香港を中心とした東アジア
○選定の理由 　韓国からの観光客は、延べ宿泊者数ベースで約６５％（2018 年）を占めていたが、日韓関係の悪化や山口宇部空港への韓国直行便の休止（2019 年 10 月～）等の影響で減少したが、依然として観光客も多く、山口県の重点プロモーション地域でもあるため。 ○取組方針 　国や県の事業と連携して、ターゲット層に強力に訴求するコンテンツを活かしたプロモーションを展開する。
○ターゲット層　米国、フランスを中心とした欧米豪
○選定の理由 　観光統計の結果の中で当地域への来訪が安定しており、一般的に旅行消費が高いターゲット層である。観光庁の「訪日外国人消費動向調査（2018 年）」で、訪日前に期待することとして「歴史・伝統文化体験」を上位にあげており、萩市の持つ魅力とマッチするため。また、せとうちＤＭＯの重点プロモーション地域でもあるため。 ○取組方針 　せとうちＤＭＯやＪＮＴＯと連携するとともに、満足度調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に訴求する萩ブランド力を活かしたコンテンツの設定とプロモーションを展開する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	**「萩まちじゅう博物館で体感するゆったり・じっくり観光」** 　萩市は江戸時代の地図が今でもそのまま使えるまちであり、まちじゅうで近世都市遺産を見ることのできる博物館です。そこには自然と歴史に培われた暮らしの知恵や技が今でも息づいています。今、求められている本物をゆったり、じっくり体感できる癒し空間といえます。
②コンセプトの考え方	萩のまち全体（市全域）を一つの博物館ととらえ、市全域に経済効果を広げ、多くの市民が愛着や誇りを感じられる戦略を柱とし、萩にあるもの、萩にしかないもの、自然・歴史・文化・人という貴重な資産を保存及び活用し、萩らしい観光地づくり、まちづくりを実現していきます。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	多種多様な業界が参画し、各種業界を代表する方々が役員（理事２５名）として理事会を形成している。年１回の総会、年４回の理事会、随時開催の各種専門部会で協会運営に対し意思決定を及ぼしている。 　また、当法人が加盟する各種広域協議会等へ出席し、広域的な連携を図っている。

様式１

	また、当協会、行政、温泉旅館協同組合が萩・明倫学舎にまとまり、３者会議を設置して、情報共有や事業検討するなど連携を図っている。また、必要があれば、萩版ＤＭＯ部会として、関係団体（観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工事業者等）を参集する体制を整え、官民・産業間・地域間の連携を図っている。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設、観光施設等が提供する観光サービスに係る推薦の店選定事業を見直し、評価する仕組みを充実させる。 また、サービス提供者を対象に、定期的な研修、セミナー等を開催する。マーケティング調査等で得られた市場動向データは、事業者にリアルタイムに共有している。 ※推薦の店選定事業は、旅館ホテル、飲食、お土産施設等を対象とし、①親切丁寧な対応、②適正な価格でのサービス提供、③健全な商業道徳な対応、④萩市観光産業の発展等を基準とし、１期３年の期間での認定制度。事業者の申請に基づき、調査や選定委員会において審議し認定証を交付している。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	当協会を中心とした従来の情報発信、ＳＮＳを利用した効果的なプロモーションを実施。 萩市の観光サイトを当協会ホームページに一元化。また、ラジオ番組にレギュラー出演をし、市民や近隣市町への情報発信を行っている。県や市等と連携し、イベント等への出店や効果的なプロモーションを行い、口コミや SNS 等への書き込みによる波及も目指していく。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額［日帰単価］（百万円）	目標	0.85	0.86	0.87	0.88	0.88	0.89
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	0.83	0.87	0.94			
		（ ）	（ ）				
●旅行消費額［宿泊単価］（百万円）	目標	2.89	2.92	2.95	2.98	3.00	3.03
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	2.99	3.06	3.14			
		（ ）	（ ）				
●延べ宿泊者数（千人）	目標	444	457	470	326	345	350
		(23)	(26)	(29)	(80)	(90)	(100)
	実績	289	283	307			
		(0.4)	(3.2)	(6.9)			
●来訪者満足度［受入対応］（点）	目標	4.39	4.39	4.40	4.69	4.7	4.7
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	4.66	4.69	4.69			
		（ ）	（ ）				
●来訪者満足度［宿泊接客］（点）	目標	4.37	4.38	4.40	4.47	4.49	4.5
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	4.46	4.43	4.56			
		（ ）	（ ）				
●リピーター率（%）	目標	67.8	68.4	69.0	45.0	47.5	50.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	47.3	43.1	42.6			
		（ ）	（ ）				

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

様式１

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【【検討の経緯】

萩市では昭和５０年より約４０年間、観光統計データの蓄積している。観光の時代の波に左右される部分があるが、持続性のある観光地経営に向けて定性的な効果を把握していく必要性がある。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

令和元年度に萩市の観光客入込数について新たな算出方法となったため、旅行消費額については、総額ではなく単価への設定とした。

旅行消費額（日帰単価、宿泊単価）は、過去 3 年間の平均を 2020 年の目標として、観光庁の日本人国内旅行消費額の増加率１０％（2020 年～2030 年）を積算根拠として 2030 年を算出し目標を定めた。

●延べ宿泊者数

宿泊施設毎の定期的な報告を基に算出した。受入容量の減少等もあるが、定員稼働率の向上や客室稼働率の向上も目指し設定する。まずは萩市観光オフ期にあたる１月～２月の稼働率増加を目指し、過去の伸び率等を参考に約 3%前後の増加を目標として定める。堅実的な増加を図り、オフ期の無い観光地を目指していく。

●来訪者満足度

マーケティング調査を基に算出、５点を満点とする評価基準で実施している。萩市ではおもてなしセミナー等を実施して、受入体制の充実を図る取組を重点的に行っており、全体的な満足度の底上げを行っていく。

●リピーター率

マーケティング調査を基に、１回以上の来訪者の比率を設定している。ターゲット設定の層のリピーター率は非常に高く、全体が底上げ出来るように努めるのと同時に、そのターゲット層から波及させ、新たな顧客の獲得を目指していく。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光客数（万人）	目標	480	490	500	510	510	510
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	361	382	389			
		（ ）	（ ）				
●ホームページビュー数（万ページ）	目標	640	660	680	700	700	700
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	350	351	348			
		（ ）	（ ）				
●メディア掲載回数（回）	目標	120	120	120	120	120	120
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績						
		（ ）	（ ）				

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
萩版ＤＭＯのコンセプトとして、「ブランド力・おもてなし・情報発信」と設定している。萩ブランドの情報発信力を強化していくことが重要課題であると考えており、そのため当協会ホームページのページビューとメディアへの掲載指数を指標とした。

【設定にあたっての考え方】
●観光入込客数
令和元年から、萩市全体の主要観光施設の入込客数と各種イベントの入込客数の総数として「観光入込客数」とし変更した。
着実に２%前後の増加を目標として定めた。

●ホームページページビュー
萩市観光の代表するホームページであり、観光の大きな波がある中ではあるが、着実に３%ずつ上昇させていきたい。大河ドラマの放映や世界遺産登録を受けた平成２７年は、近年の萩市の観光産業では最高の数値を打ち出しており、その数値に少しでも近づけていきたい。

●メディア掲載回数
メディアが取り上げたいと思って頂けるような、観光地づくりとイベント等の運営に心がけ、雑誌や新聞、テレビ等での掲載を維持させていきたい。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３）年度	128,044,809（円）	【国からの補助金】 350,000（円） 【市からの補助金】 96,416,564（円） 【その他の補助金】 0（円） 【収益事業収入】 24,682,144（円） （うち市からの委託料収入）17,436,538（円） 【会費収入】 6,560,500（円） 【その他の収入】 35,601（円）
2022（Ｒ４）年度	120,305,271（円）	【市からの補助金】 89,118,118（円） 【その他の補助金】 395,000（円） 【収益事業収入】 23,454,443（円） （うち市からの委託料収入）18,961,713（円） 【会費収入】 6,658,750（円） 【その他の収入】 678,960（円）
2023（Ｒ５）年度	108,924,625（円）	【市からの補助金】 78,156,622（円） 【その他の補助金】 0（円） 【収益事業収入】 23,078,645（円） （うち市からの委託料収入）18,504,312（円） 【会費収入】 6,522,000（円）

様式１

		【その他の収入】 1,097,358（円）
2024（Ｒ６） 年度	107,955,933（円）	【市からの補助金】 73,854,492（円） 【その他の補助金】 2,250,750（円） 【収益事業収入】 24,966,451（円） （うち市からの委託料収入）19,013,233（円） 【会費収入】 6,483,950（円） 【その他の収入】 400,290（円）
2025（Ｒ７） 年度	126,000,000（円）	【市からの補助金】 95,900,000（円） 【その他の補助金】 0（円） 【収益事業収入】 22,000,000（円） （うち市からの委託料収入）15,000,000（円） 【会費収入】 7,500,000（円） 【その他の収入】 600,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	126,000,000（円）	【市からの補助金】 95,900,000（円） 【その他の補助金】 0（円） 【収益事業収入】 22,000,000（円） （うち市からの委託料収入）15,000,000（円） 【会費収入】 7,500,000（円） 【その他の収入】 600,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	126,000,000（円）	【市からの補助金】 95,900,000（円） 【その他の補助金】 0（円） 【収益事業収入】 22,000,000（円） （うち市からの委託料収入）15,000,000（円） 【会費収入】 7,500,000（円） 【その他の収入】 600,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	127,080,667（円）	【事業費】 116,040,815（円） （うち宣伝費）27,674,618（円） （うち行事費） 5,924,319（円） 【管理費】 11,039,852（円）
2022（Ｒ４） 年度	119,005,227（円）	【事業費】 106,002,609（円） （うち宣伝費）17,346,922（円） （うち行事費） 8,041,551（円） 【管理費】 13,002,618（円）
2023（Ｒ５） 年度	108,361,315（円）	【事業費】 95,306,608（円） （うち宣伝費）14,284,086（円） （うち行事費） 8,628,101（円） 【管理費】 13,054,707（円）
2024（Ｒ６） 年度	106,467,942（円）	【事業費】 92,530,693（円） （うち宣伝費）20,788,138（円） （うち行事費）8,909,126（円） 【管理費】 13,937,249（円）
2025（Ｒ７） 年度	126,000,000（円）	【事業費】 106,000,000（円） （うち宣伝費）15,000,000（円） （うち行事費）10,000,000（円） 【管理費】 20,000,000（円）

2026（Ｒ８） 年度	126,000,000（円）	【事業費】　106,000,000（円） （うち宣伝費）15,000,000（円） （うち行事費）10,000,000（円） 【管理費】　20,000,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	126,000,000（円）	【事業費】　106,000,000（円） （うち宣伝費）15,000,000（円） （うち行事費）10,000,000（円） 【管理費】　20,000,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

現状として、財源の約７０％が自治体からの補助金、約１６％を自治体からの受託事業で賄われている。自主財源の確保の必要性が問われるものの、急激な変化はなかなか見込まれないところである。間接的ではあるものの、引き続きＤＭＯによる、より良い観光地づくりを目指し経済活性化に寄与することで会員数の増加等による増収を図っていく。

また、自治体が徴収する入湯税を財源に、ＤＭＯ事業に対する安定的に補助金が交付されるよう継続して協議していく。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

萩にしかないモノを次世代に確実に伝え、「萩に住んで良かった」「萩を終の住処にして良かった」と市民が日々実感できるように、また市外からの来訪者が「萩に住みたい」と感じていただけるように魅力あるまちづくりを推進するため、観光事業の舵取り役として多様な関係者と連携し、新たな客層の開拓、リピート客の確保、多様なニーズに対応する受入環境の整備、ターゲットを明確にした観光情報の発信などの観光戦略を推進する、一般社団法人萩市観光協会を萩市における地域ＤＭＯとして登録したいので一般社団法人萩市観光協会とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

様式１

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	世良　真智志
担当部署名（役職）	マーケティング責任者（事務局長）
郵便番号	７５８－００４１
所在地	山口県萩市大字江向６０２番地　萩・明倫学舎３号館
電話番号（直通）	０８３８-２５-１７５０
ＦＡＸ番号	０８３８-２５-２０７３
Ｅ－ｍａｉｌ	tokiiro07@hagishi.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	山口県萩市
担当者氏名	藤原　章雄
担当部署名（役職）	商工観光部（部長）
郵便番号	７５８－００４１
所在地	山口県萩市大字江向６０２番地　萩・明倫学舎３号館
電話番号（直通）	０８３８-２５-３１３９
ＦＡＸ番号	０８３８-２６-０７１６
Ｅ－ｍａｉｌ	1220@city.hagi.lg.jp

都道府県･市町村名	萩市
担当者氏名	上利　寿博
担当部署名（役職）	商工観光部観光課（課長補佐）
郵便番号	７５８－００４１
所在地	山口県萩市大字江向６０２番地　萩・明倫学舎３号館
電話番号（直通）	０８３８-２５-３１３９
ＦＡＸ番号	０８３８-２６-０７１６
Ｅ－ｍａｉｌ	1267@city.hagi.lg.jp

（登録）【地域DMO】一般社団法人萩市観光協会

様式2

記入日：　令和7年　7月　1日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　山口県　萩市
【設立時期】 昭和30年9月1日　萩市観光協会発足
　　平成29年4月1日　一般社団法人に移行
【設立経緯】
③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】 会長　阿川　仁海
【マーケティング責任者（CMO）】 事務局長　世良　真智志
【財務責任者（CFO）】 大賀　真琴
【職員数】 8人（常勤8人（正職員6人・出向等1人・非正規1人）
【主な収入】
　補助金　75百万円、委託事業　19百万円（令和6年度決算）
【総支出】
　事業費　106百万円、一般管理費　13百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
　旅館ホテル、飲食店、小売店、観光施設、交通事業者、旅行事業者
　各種団体等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	14,340（　）	14,340（　）	14,340（　）	14,340（　）	14,340（　）	14,340（　）
	実績	11,870（　）	11,667（　）	12,615（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	444（23）	457（26）	470（29）	326（80）	345（90）	350（100）
	実績	289（0.4）	283（3.2）	307（6.9）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	4.37（　）	4.38（　）	4.40（　）	4.47（　）	4.49（　）	4.5（　）
	実績	4.46（　）	4.43（　）	4.56（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	6.78（　）	6.84（　）	69.0（　）	45.0（　）	47.5（　）	50.0（　）
	実績	47.3（　）	43.1（　）	42.6（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
　〇国内メインターゲット
　　関東、近畿、広島、福岡の50～60代男女
　〇国内戦略的ターゲット
　　関東・近畿等大都市圏の20代～40代の女性
　〇国外メインターゲット
　　台湾、香港を中心とした東アジア
　〇国外戦略的ターゲット
　　米国、フランスを中心とした欧米豪
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
　観光情報の発信強化、萩まちじゅう博物館構想の推進、外国人観光客の誘致拡大、アクセスの向上・受入体制の充実を重点戦略に取り組む
【観光地域づくりのコンセプト】
　萩まちじゅう博物館で体感するゆったり・じっくり観光

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・観光コンテンツの充実化に向けた事業者への支援補助金
・観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業
・宿泊客増加に向けた観光地魅力創出事業
・歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業
・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
・せとうちDMOと連携したFAMツアー
【受入環境整備】
・地域観光資源の多言語解説文整備支援事業
・Wi-Fiの整備、看板多言語化、トイレ洋式化
・キャッシュレス決済機器の導入支援

【情報発信・プロモーション】
・ホームページの多言語化（英語、韓国語、中国語（繁体字）（地方創生推進交付金）
・パンフレット刷新（英語、韓国語、繁体字）
・観光地における新規市場の開拓・多角化に向けた実証事業
・インバウンドプロモーション（モニターツアー、SNS投稿、WEB掲載）
・インバウンドPASS事業
・HAGIイメージアップ事業
・DXを活用した情報発信強化事業
・デジタルプロモーション